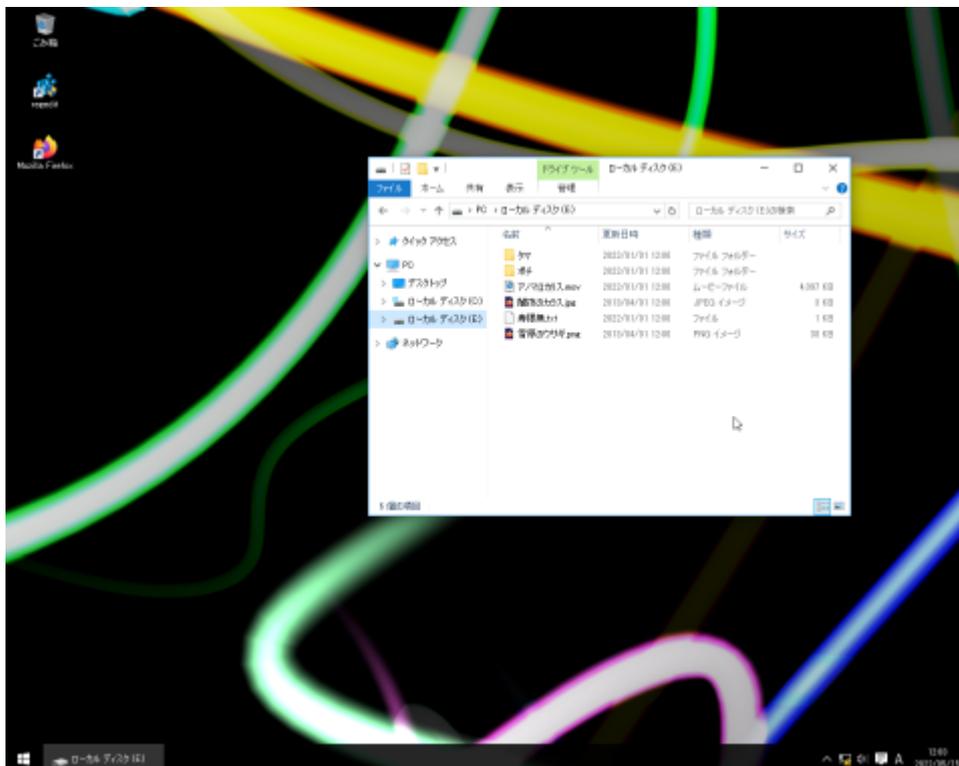


このプログラムは、スクリーン セーバーの画像を壁紙として表示します。

ただし、すべてのスクリーン セーバーを壁紙にできる訳ではありません。スクリーン セーバーの作り次第では、このプログラムでは壁紙にできないものもあります。



配布ファイル一覧

WPSS.exe …… スクリーン セーバー壁紙プログラム
WPSS.pdf …… プログラムの使用方法 (PDF 形式)
Readme.txt …… この作品についての説明
License.txt …… ご利用条件

動作環境

このプログラムは Windows 8 および Windows 10 上で動作します。Windows 8 より古い OS では動作しません。Windows 11 以降での動作は未確認です。

以降の説明は Windows 10 の場合について行います。

インストール/アンインストール

このプログラムにはインストーラはありません。エクスプローラー等から“WPSS.exe”を起動するだけで使用できます。ログオン時に自動的に起動する等の機能はありません。自動的に起動したい場合は、スタートアップやタスク スケジューラに登録するなどの方法で、手動で起動の設定を行ってください。設定(後述)を保存すると、プログラムのあるディレクトリに設定ファイル(WPSS.dat)が作成されますので、書き込みが許可されているディレクトリにプログラムを置いてください。

このプログラムはレジストリは変更しません。アンインストールするときは“WPSS.exe”を削除してください。設定を保存した場合は、プログラムのあるディレクトリに設定ファイルが作成されていますので、それも削除してください。

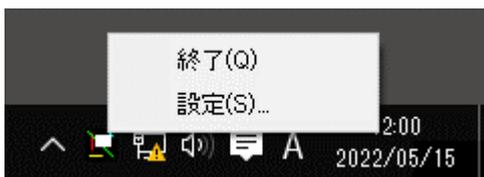
使用方法

プログラムを起動すると、タスク バーの通知領域または通知領域オーバーフローにこのプログラムのアイコンが表示されます。



使用するスクリーン セーバーを設定すると、壁紙の表示を開始します。すでにスクリーン セーバーの設定が保存されている場合は、プログラムを起動するとすぐに壁紙の表示を開始します。

アイコンをクリックするとポップアップ メニューが表示されます。



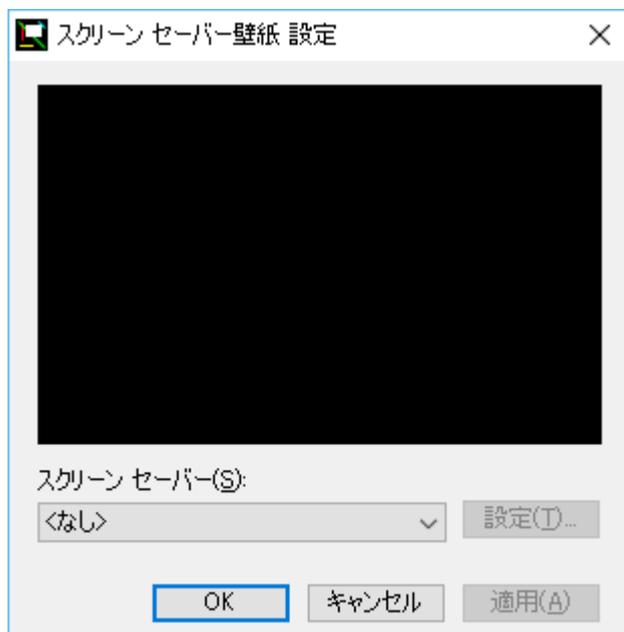
メニュー項目の説明

- 終了

プログラムを終了します。

- 設定

使用するスクリーン セーバーを設定します。
[設定]を選択すると設定画面が表示されます。

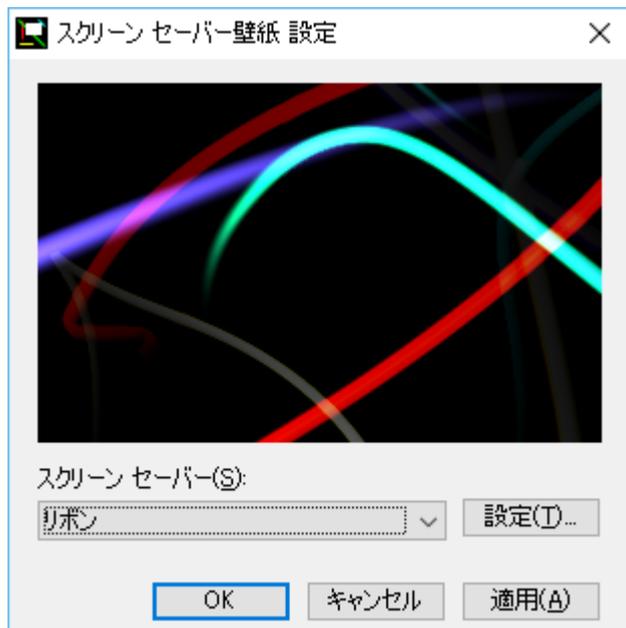


設定を保存すると、設定内容を保存したファイルが“WPSS.dat”という名前で、プログラムのあるディレクトリに作成されます。プログラムのあるディレクトリへの書き込みが許可されていないと設定ファイルの保存が失敗しますので、書き込みが許可されているディレクトリにプログラムを置いてください。

設定画面の項目の説明

- スクリーン セーバー

使用するスクリーン セーバーを選択します。ここで選択したスクリーン セーバーのプレビューが画面上部に表示されます。



「<なし>」を選択すると、壁紙の表示を行いません。

- 設定

[スクリーン セーバー]で選択されているスクリーン セーバーの設定画面を表示します。設定画面の無いスクリーン セーバーもありますが、あればそれを表示します。Windows の標準のスクリーン セーバー設定の画面にある[設定]と同じ機能です。

スクリーン セーバーの設定画面の例



ここで表示される設定画面は各スクリーン セーバーに固有のものです。その画面で設定を変更すると、スクリーン セーバー壁紙の表示と本来のスクリーン セーバーの表示の両方が変わります。つまり、ここで表示した設定画面で設定を変更すると、本来のスクリーン セーバーの表示も変わりますし、標準のスクリーン セーバー設定の[設定]で表示した設定画面で設定を変更すると、スクリーン セーバー壁紙の表示も変わります。

スクリーン セーバーの設定画面の設定を変更した後このプログラムの設定画面をキャンセルしても、スクリーン セーバーの設定画面で変更した内容はキャンセルされません。